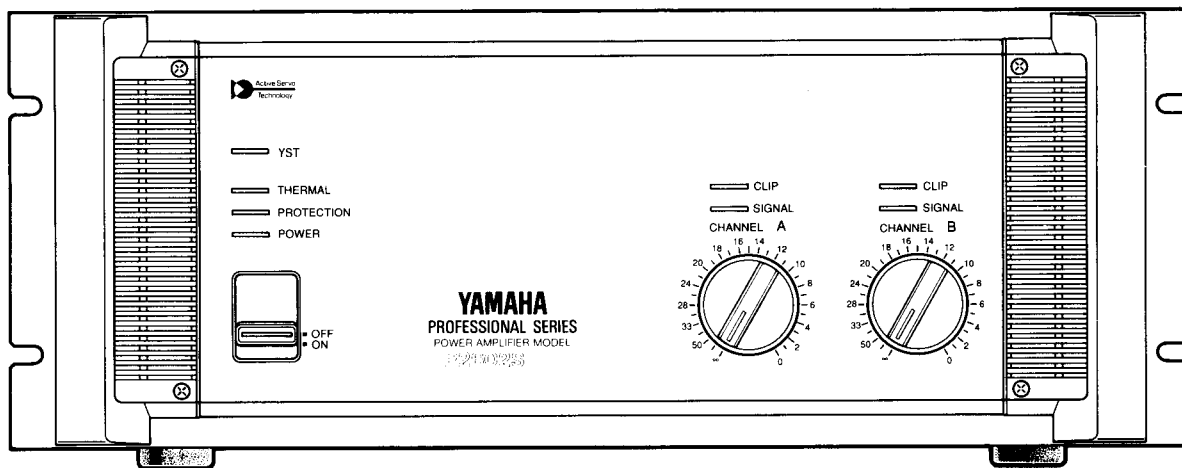


YAMAHA

PROFESSIONAL SERIES POWER AMPLIFIER

P2602S

取扱説明書





このたびはYAMAHAパワーアンプP2602Sをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。YA-

MAHA Active Servo TechnologyパワーアンプP2602Sは、ヤマハが新しいオーディオ技術に基づいて開発した超低域再生のヤマハアクティブ・サーボ・テクノロジースピーカーシステムと組み合わせ、従来のシステムでは考えられない超低域再生や、振幅歪をはじめとする各種歪の低減や、見事な音像定位と音場表現力を実現しています。

また、一般用スピーカーシステムと接続して、PA用パワーアンプとして、あるいはオーディオシステムのベーシックアンプとしてもご利用いただけるよう設計されています。

連続出力260W+260W(8Ω負荷、ノーマル)およびYST連続出力250W+250W(8Ω負荷、YST)の大出力、歪率0.01%以下という高性能は、奥行のある音楽の世界を目の前に展開してくれることでしょう。

●YSTはYAMAHA Active Servo Technologyの省略形です。

■目次

ご使用上の注意	1
総合仕様	2
フロントパネル	3
リアパネル	4
接続方法	5
ブロックダイアグラム	6
寸法図	6
サービスについて	7

■ご使用上の注意

●アンプの放熱について

本機は、ラジエーターの表面温度が70℃を超えるとTHERMALインジケーターが点灯します。このようなときは放熱の状態を確かめ、冷却の対策が必要です。更に点灯状態が続くようでしたらアッテネーターをしぼるなどの処置をしてください。

また本機の設置場所には、通風性の良い場所を選び、上に物をのせたりすることは避けてください。なお、屋外では直射日光の当たる場所での運用は異常高温になることがありますので絶対に避けてください。

●ご家庭でご使用になる場合

本機のACコードは直接コンセントに差し込んでください。同一コンセントから他機器へ同時に接続することは危険です。また定格最大出力時には10Aを超える電流が流れますので、電力容量にご注意ください。ブレーカが働いたりヒューズが切れる場合には商用電力の容量を増やすなどの対策が必要です。

●ヒューズ交換について

ヒューズは15Aの容量のものを1個使用しています。かならず同じ定格のヒューズを使用してください。

ヒューズの断線は、オーバーパワーなどの使用上のミスのほか、故障などの原因によるものですから、お買い上げ店もしくは、巻末の最寄りのサービスステーションにご相談ください。

総合仕様

●アンプ部

連続出力

(NORMAL) 260W+260W(8Ω、20Hz~20kHz、THD 0.05%)
 (YST) 250W+250W(8Ω、20Hz~20kHz、THD 0.05%)

周波数特性 10Hz~50kHz、0dB±1.0dB(8Ω、1W)

パワーバンド幅 20Hz~50kHz(8Ω、130W、THD 0.1%)

全高調波歪率 0.01%以下(8Ω、130W、20Hz~20kHz)

混変調歪率 0.005%以下(8Ω、130W、250Hz:12.5kHz=4:1)

クロストーク 75dB(20Hz~20kHz、8Ω、130W、INPUT ATT MIN)

ダンピングファクタ 200以上(1kHz、8Ω)

S/N比 100dB(入力600Ω Shunt. IHF A)

入力感度 +4dBm(8Ω、260W)

入力インピーダンス 15kΩ (INPUT ATT MAX)

電圧利得 31.4dB(1kHz、INPUT ATT MAX)

●インジケータ部

POWERインジケータ 赤色LED

PROTECTIONインジケータ 赤色LED

THERMALインジケータ 赤色LED(70℃以上で点灯)

CLIPインジケータ 赤色LED(THD 1%以上で点灯)

SIGNALインジケータ 緑色LED(20Hz~20kHz、Vo=2V以上で点灯)

YSTインジケータ 緑色LED

●その他全般

定格電源 AC100V、50/60Hz

定格消費電力 330W

寸法 480(W)×184(H)×433(D)mm

パネルサイズ 480(W)×176(H)mm

ラックマウント 19インチ標準ラックマウント可能

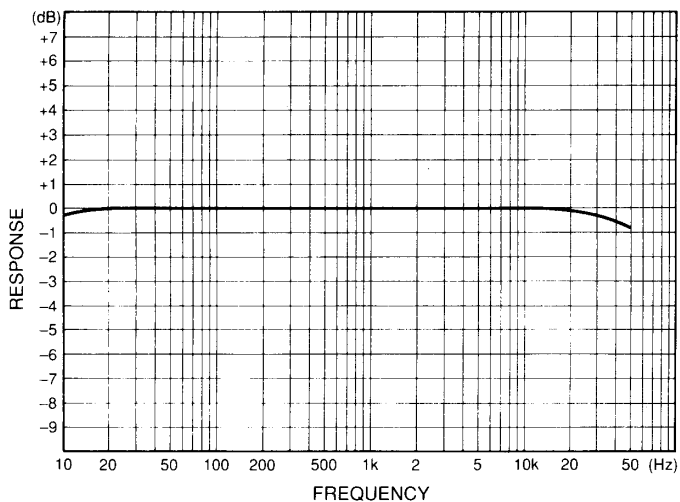
重量 23.6kg

付属品 ノブロック×2

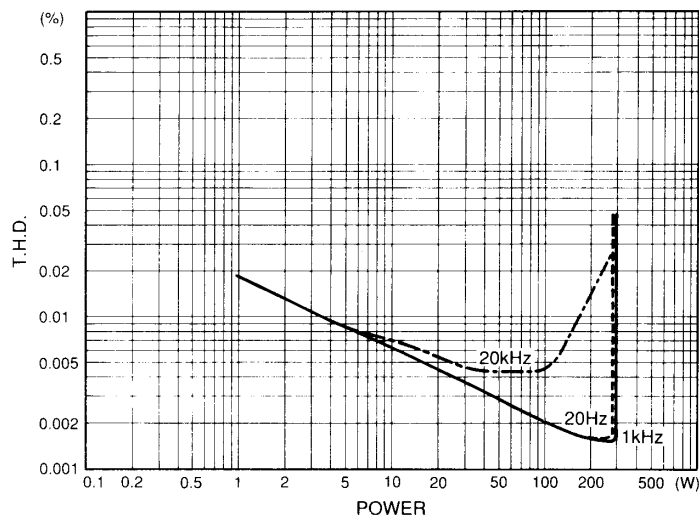
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■周波数特性

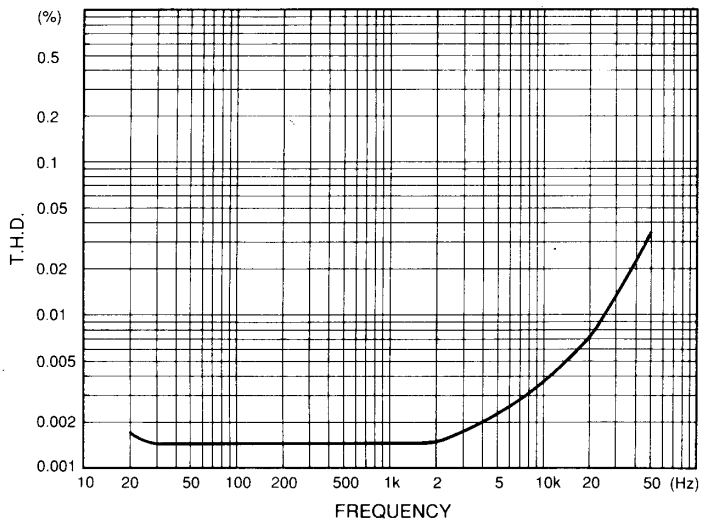
1w, RL : 8Ω



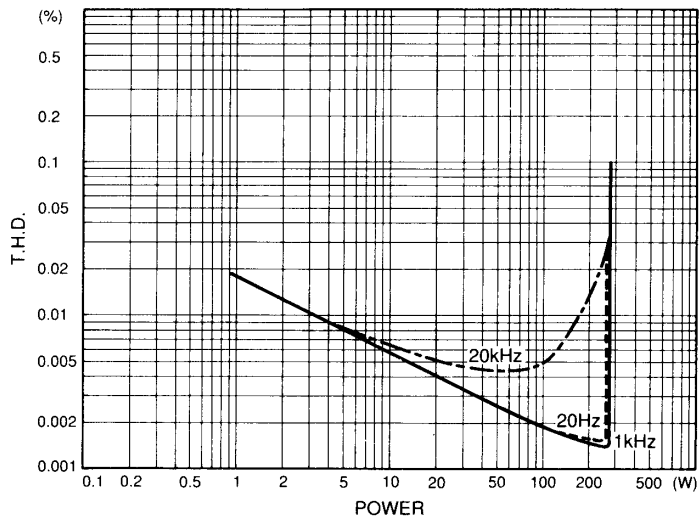
■出力対全高調波歪率(片ch駆動)



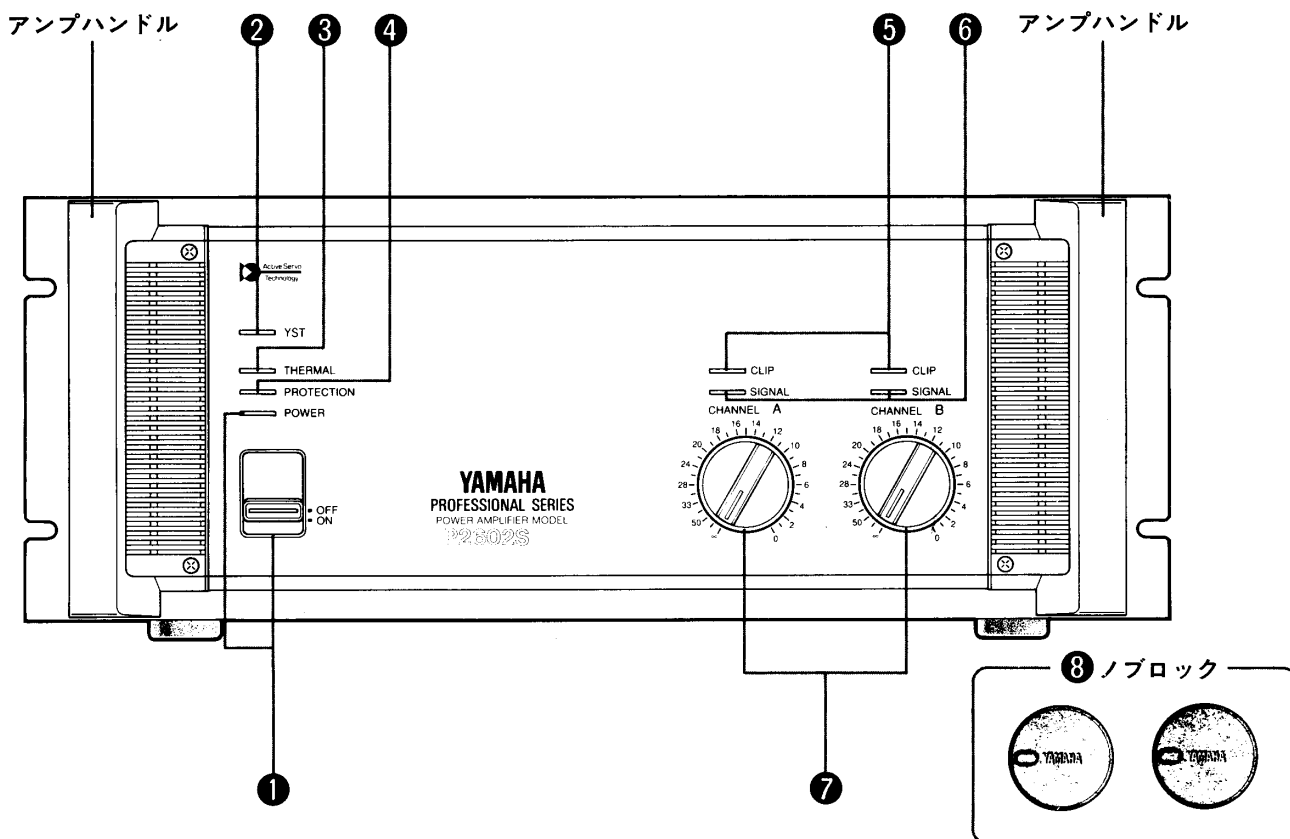
■周波数対全高調波歪率



■出力対全高調波歪率(両ch駆動)



フロントパネル



① POWER(電源スイッチ、パワーインジケータ)

スイッチを下方に押しとONになり、パワーインジケータが点灯し、さらにもう一度下方に押しとOFFになります。

② YST(ヤマハアクティブ・サーボ・テクノロジー)インジケータ

カートリッジが挿入されているとLEDが点灯します。

※カートリッジの抜き差しは必ず電源をOFFにして行ってください。

③ THERMALインジケータ

メインラジエーターの表面温度が70°Cを超えるとLEDが点灯します。このインジケータが点灯した場合は放熱対策が必要です。

④ PROTECTIONインジケータ

電源スイッチを押すと約6秒間点灯し、プロテクション(保護)回路が動作していることを知らせます。このインジケータが点灯している間はスピーカーから音は出ません。また、何らかの原因でプロテクション回路が動作した場合もこのインジケータが点灯し音が出なくなりますが、原因が取り除かれれば自動的に復帰しインジケータが消え正常動作となります。

⑤ CLIPインジケータ

出力の歪率が1%を超えるとLEDが点灯し、アンプに過大入力加わりクリップしていることを示します。

⑥ SIGNALインジケータ

出力の電圧が2Vを超えるとLEDが点灯し、アンプに音声信号が入力していることを示します。

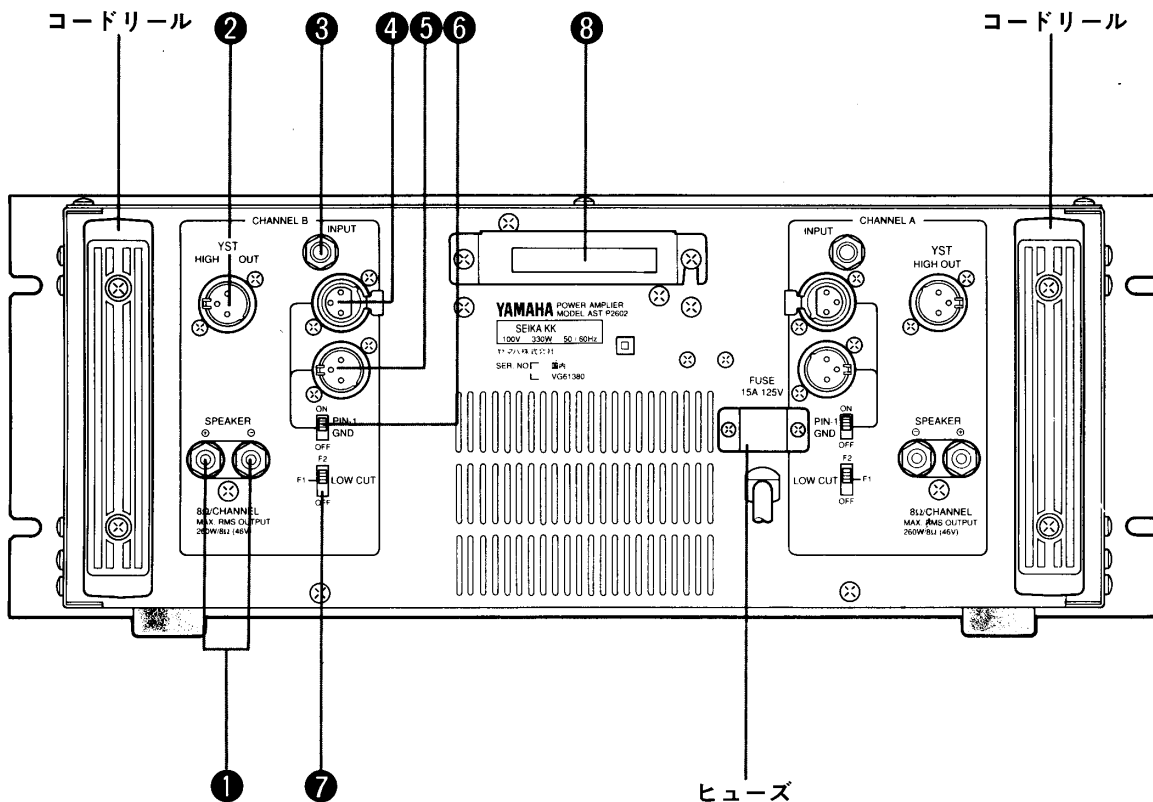
⑦ アッテネータ

入力感度を調整する31ポジションのアッテネータです。0〜20dBまでは1dBステップ、−20〜−30dBまでは2dBのステップです。時計方向に回しきったところで0、反時計方向に回しきったところで∞の減衰量が得られるクリックストップ方式です。

⑧ ノブロック(付属品)

セッティング後など、アッテネータをロックするときにはめ込みます。

リヤパネル



① SPEAKER端子

スピーカーを接続する端子です。赤色の端子にスピーカーの(+), 黒色の端子に(-)を接続します。

YAMAHA Active Servo Technologyスピーカーシステム使用のYST動作の場合は、LF出力端子となります。

② YST HIGH OUT キャンノンソケット(XLR-3-32タイプ)

YAMAHA Active Servo Technologyスピーカーシステムを使用する際のHIGH OUT端子です。もう1台の2チャンネルパワーアンプに接続し、そのパワーアンプのSPEAKER端子から、スピーカーシステムのHF入力端子に結線します。

LFとHFのレベルバランスは各パワーアンプの入力アッテネーターで調整します。

③ ホーン入力端子

標準ホーンプラグによる入力の場合に使用します。

④ XLR入力端子(XLR3-31タイプ)

一般的には、この端子を入力端子として使用します。ピンの結線は1番シールド、2番ホット、3番コールドの方式を採用しています。また、コネクターとしてキャンノンXLR-3-12Cスイッチクラフト5C-1055Aが適合します。

⑤ XLR入力端子(XLR3-32タイプ)

適合コネクターは、キャンノンXLR-3-11C、スイッチクラフト5C-1056Aです。パワーアンプ増設用の送り端子としても使用できます。

⑥ PIN 1 GNDスイッチ

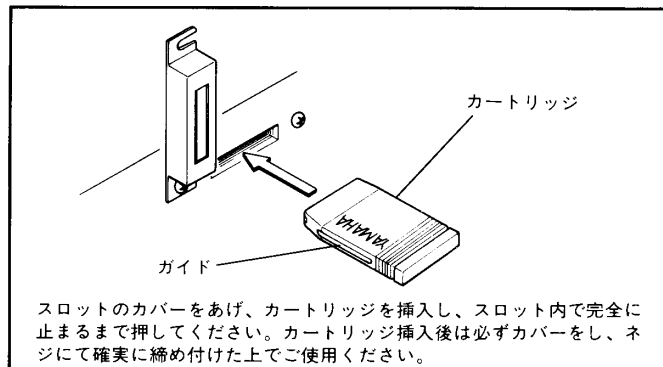
キャンノンコネクターのアースライン(1番:シールド)をON/OFFするスイッチです。通常はONで使用します。アースラインがループになってハムが発生したとき、アースラインを切りはなすと減少する場合があります。このようなとき、スイッチを切り換えてください。

⑦ LOW CUT切り換えスイッチ

ローカットフィルターをON/OFFするスイッチです。カットオフ周波数はF1が32Hz、F2が63Hzの2段階になっていますので、ご使用状況に応じて切り換えてください。

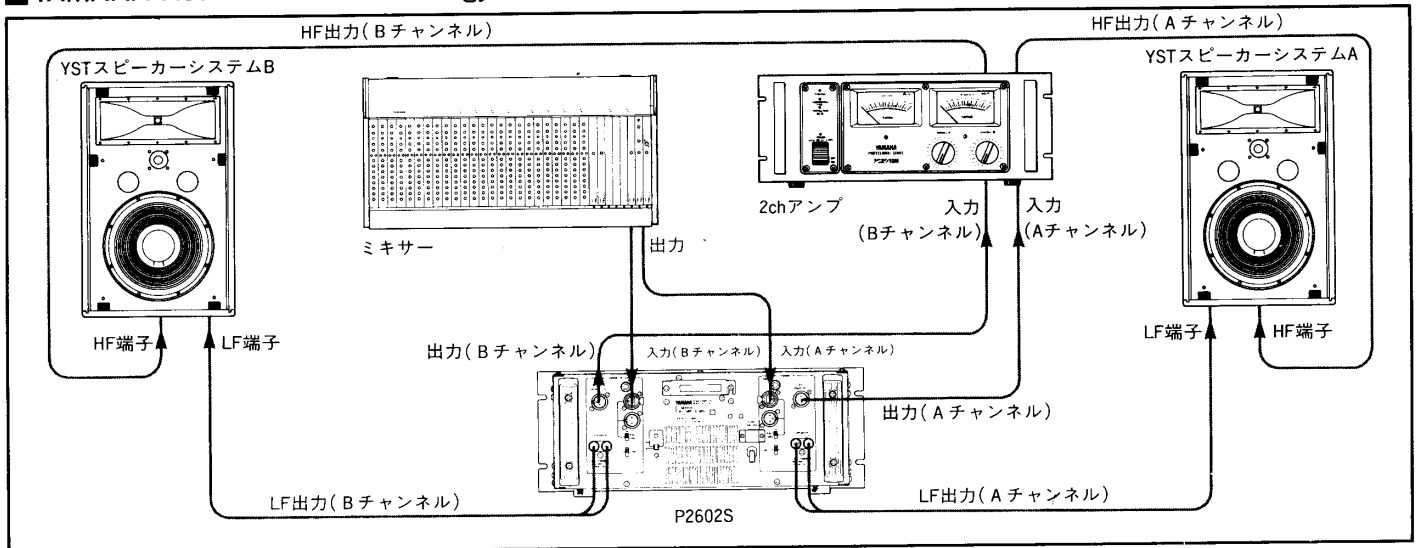
⑧ カートリッジ用スロット

YAMAHA Active Servo Technologyスピーカーシステムに付属のカートリッジを差し込むためのスロットです。抜き差しは必ず電源をOFFにして行なってください。

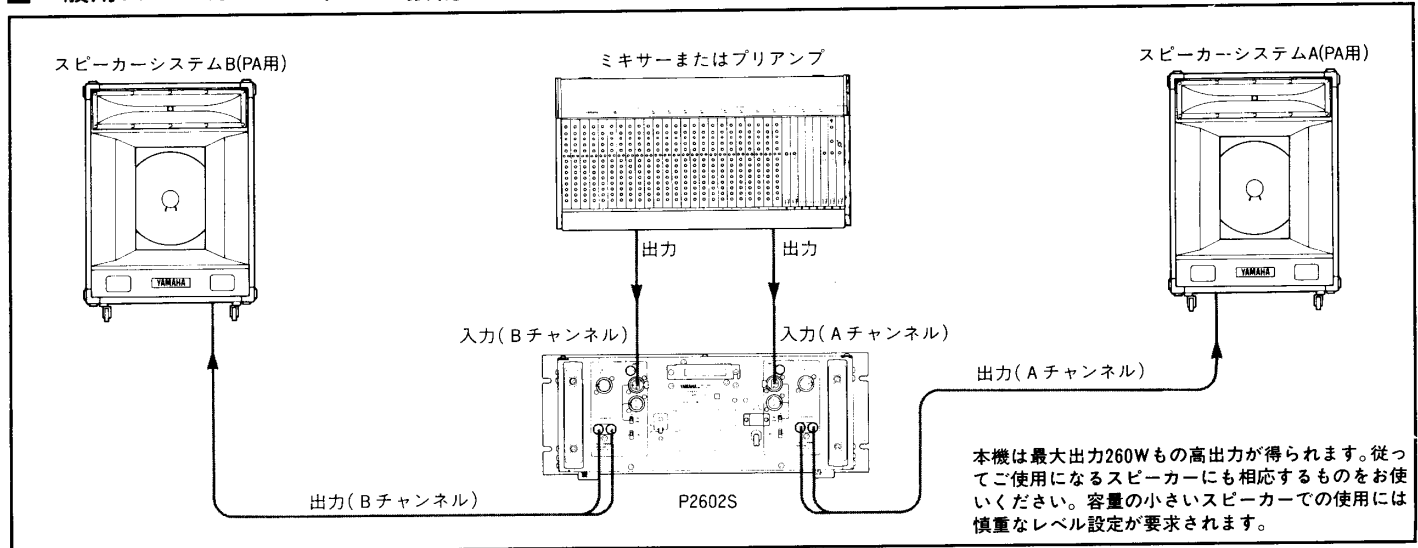


接続方法

■YAMAHA Active Servo Technologyスピーカーシステムの接続



■一般用スピーカーシステムの接続



●スピーカー出力端子

Ach、Bchそれぞれのスピーカー端子に対応するスピーカーのコードを接続します。赤色端子が⊕、黒色端子が⊖ですから間違いのないように接続してください。

スピーカーコードの端末は、ショートしないように処理して、しっかりと締め付けます。また、スピーカーコードの着脱は必ず電源スイッチをOFFにして行ってください。

●入力端子

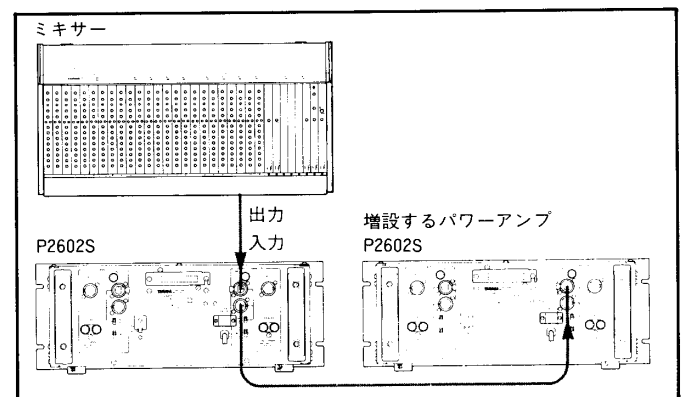
入力端子には、キャノンソケット(平衡形)、および標準ジャック(平衡形)があります。

●ミキサー(プリアンプ)からの接続

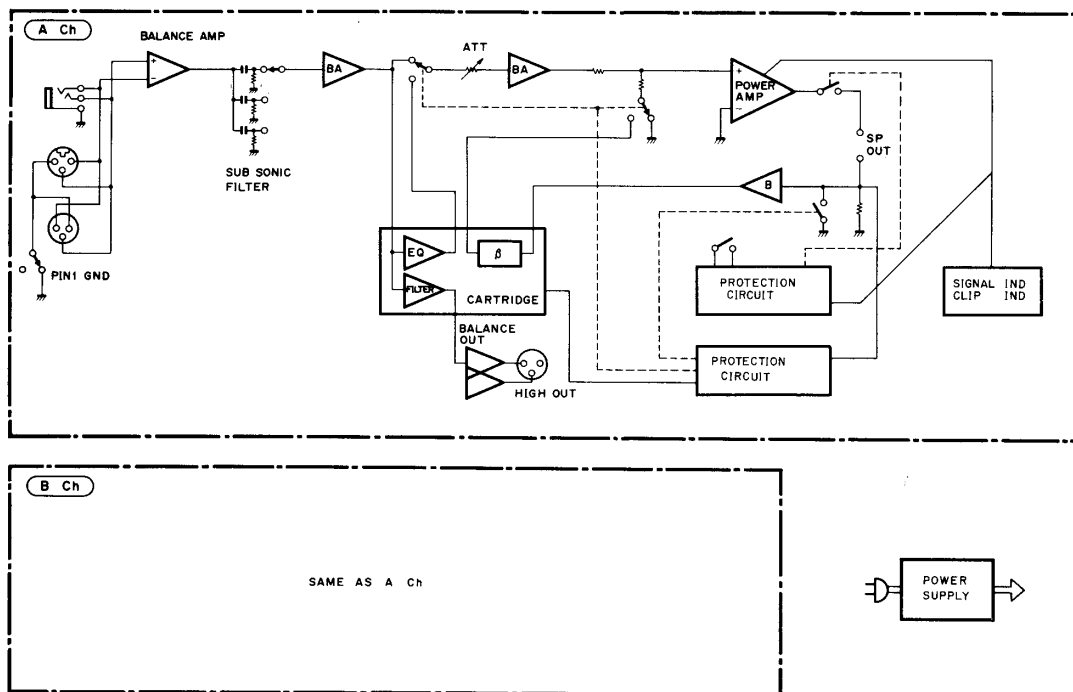
ミキサーのSTEREO OUT (PRE OUT) から出力を取り出しパワーアンプの入力端子に接続します。

■パワーアンプの並列接続(アンプの増設)

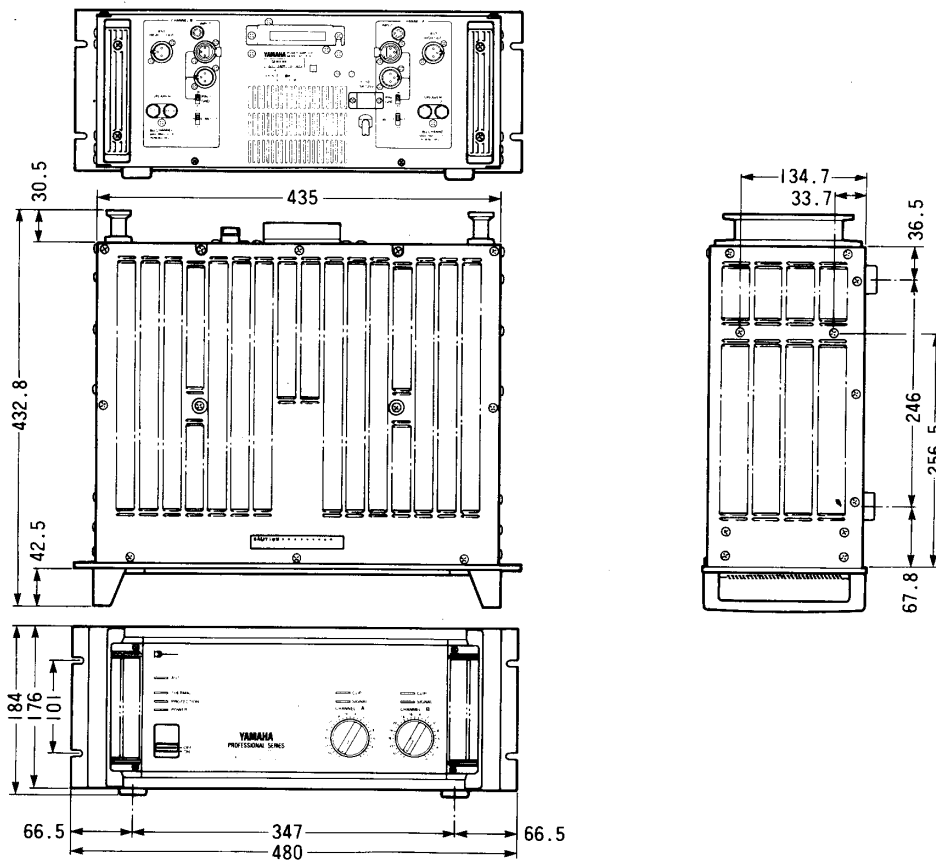
本機の入力端子には、キャノンXLR-3-31、XLR-3-32の2タイプのコネクターがあり、内部で並列接続されておりますので、送りのソケットを利用して他のパワーアンプに信号を供給することが可能です。



ブロックダイアグラム



寸法図



単位：mm

サービスについて

本機の保証期間は、保証書によりご購入から1ヶ年です。(現金、ローン、月賦などによる区別はございません。)また保証は日本国内にてのみ有効といたします。

●保証書

保証書をお受け取りのときは、お客さまのご住所、お名前、お買い上げ月日、販売店名などを必ずご確認ください。無記名の場合は無効になりますので、くれぐれもご注意ください。

●保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が、本機をご購入いただいたお客さまにご購入の日から向う1カ年間の無償サービスをお約束申しあげますが、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費を頂戴させていただくことになります。万一の場合に備えて、いつでもご提示いただけますように充分ご配慮のうえで保管してください。また、保証期間が切れましてもお捨てにならないでください。後々のサービスに際しての機種別の判別や、サービス依頼店の確認などで便利にご利用いただけます。

●保証期間中のサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買い上げ店にご連絡頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂戴く場合もあります。又お買い上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買い上げ店あるいは電音サービス拠点にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

満1カ年の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引き続き責任をもってサービスをさせていただきます。なお、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっています。そのほかご不明の点などございましたら、下記のヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点 (修理受付および修理品お預り窓口)

北海道電音サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1-1-50(ヤマハセンター内) TEL (011) 513-5036
仙台電音サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7(仙台卸商共同配送センター3F) TEL (022) 236-0249
東京電音サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL (044) 434-3100
新潟電音サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8(シルバールポールビル2F) TEL (025) 243-4321
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911(ヤマハ㈱宮竹工場内) TEL (0534) 65-6711
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (ヤマハ㈱名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5262
京都電音サービスステーション	〒600 京都市下京区七条通周之町東入材木町483 (第2マスイビル3F) TEL (075) 361-6470
神戸電音サービスステーション	〒650 神戸市中央区元町2-7-3(ヤマハ㈱神戸店内) TEL (078) 321-1195
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(ヤマハ㈱高松店内) TEL (0878) 22-3045
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
本社 電音サービス部	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 65-1158

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。

ヤマハ株式会社 音響システム事業部

音響システム事業部	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534(60)2493
東京営業所	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル TEL.03(574)8592
大阪営業所	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 TEL.06(252)5231
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL (052) 201-5199

楽器営業本部

L M 営業部	〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534(60)2431
北海道支店	〒064 札幌市中央区南十条西1-1 ヤマハセンター L M 営業課 TEL.011(512)6107
仙台支店	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 L M 営業課 TEL.022(222)6146
東京支店	〒104 東京都中央区銀座7-11-3 矢島ビル L M 営業課 TEL.03(574)8592
名古屋支店	〒460 名古屋市中区錦1-18-28 L M 営業課 TEL.052(201)5199
大阪支店	〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館 L M 営業課 TEL.06(252)5231
広島支店	〒730 広島市中区紙屋町1-1-18 ヤマハビル L M 営業課 TEL.082(244)3749
九州支店	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 L M 営業課 TEL.092(472)2130